

## [この講座で使う Excel の関数]

関数名	書式とその説明 (Microsoft Excel ヘルプより抜粋)
SUM	<b>SUM(数値 1,数値 2,...)</b> 数値 1 ,数値 2,... 平均を求める数値データを指定します。 引数は 1 ～ 30 個まで指定できます。
AVERAGE	<b>AVERAGE(数値 1,数値 2,...)</b> 数値 1 , 数値 2,... 集計を計算する数値を指定します。 引数は 1 ～ 30 個まで指定できます。
ROUNDDOWN	<b>ROUNDDOWN(数値,桁数)</b> 数値 切り捨ての対象となる実数値を指定します。 桁数 数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。
ROUNDUP	<b>ROUNDUP(数値,桁数)</b> 数値 切り上げの対象となる実数値を指定します。 桁数 数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。
ROUND	<b>ROUND(数値,桁数)</b> 数値 四捨五入の対象となる数値を指定します。 桁数 数値を四捨五入した結果の桁数を指定します。
MAX	<b>MAX(数値 1,数値 2,...)</b> 数値 1 ,数値 2,... 最大の数値を見つけるため、1 ～ 30 個までの数値を指定することができます
MIN	<b>MIN(数値 1,数値 2,...)</b> 数値 1,数値 2,... 最小の数値を見つけるため、1 ～ 30 個までの数値を指定することができます。
IF	<b>IF(論理式,真の場合,偽の場合)</b> 論理式 真または偽のどちらかに評価できる値または式を指定します。たとえば、A10=100 は論理式です。この論理式は、セル A10 の値が 100 の場合に TRUE となり、それ以外の場合に FALSE となります。引数には、どの比較演算子でも使用できます。
VLOOKUP	<b>VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,検索の型)</b> 指定された配列の左端の列で特定の値を検索し、範囲内の対応するセルの値を返します。VLOOKUP 関数は、比較する値がデータ テーブルの左端の列に入力され、その位置から指定された列だけ右にある値を取り出す場合に使用します。
HLOOKUP	<b>HLOOKUP(検索値,範囲,列番号,検索の型)</b> 指定したテーブルまたは配列の上端行で特定の値を検索し、その値と同じ値が入力されている行と列の値を返します。HLOOKUP 関数は、比較する値がデータ テーブルの上端行に入力され、その位置から指定された行だけ下にある値を取り出す場合に使用します。

※書式内の太字部分は必須ですが、細字部分は必要がなければ省略できます。